

「コロナ禍における偽造医薬品の脅威」

※感染拡大にともないWEBによるオンライン参加のみに変更いたします。

2021.8.20 [FRI]

13:00-17:00

※受付開始時間 12:40

主 催：一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会

■ 参加方法：WEB（ライブ配信によるオンライン参加）

■ 定 員：定員制限なし

■ 参加費：会 員： 8,000円 /人
非会員： 13,000円 /人
学 生： 無料

■ お申し込み方法：

本フォーラムへの参加は事前登録が必要となります。
下記手順で、当会ホームページより「申し込みフォーマット」をダウンロードの上、
必要事項を御記入頂き、下記「第9回参加受付」のアドレスにご送信下さい。
登録完了となり次第、登録完了メールを送信させていただきます。

当会ホームページ（URL: <http://www.secure-design.jp/>）を開きます

HOME画面で、「conference」をクリック

「医薬品セキュリティ研究会主催フォーラム」をクリック

「第9回医セ研フォーラム申し込みフォーマット」をクリック

申し込みフォーマットがダウンロードされます

必要事項を御記載の上、第9回参加受付（E-mail: info@secure-design.jp）へ送信

登録完了メールが届きます

※ 感染状況等によっては、開催が中止となる場合がございますので予めご了承下さい。

■ 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 フォーラム事務局

（フォーラムに関する問い合わせ先）

E-mail : info@secure-design.jp

URL. <http://www.secure-design.jp/>

■ 後 援：金沢大学医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科メディークウォリティ・セキュリティ講座

フォーラム開催に向けて

新型コロナウイルスの終息が見えない中で、人々が自分や家族を守るためにワクチンを希求するにつけ込み、COVID-19の防具や治療薬、ワクチンが詐欺サイトや裏社会を通じて出回ることを欧米諸国の取締機関やインタポール、ユーロポール、欧州評議会、国連薬物・犯罪事務所、世界保健機関が揃って警鐘を鳴らしている。特に、犯罪組織がCOVID-19 ワクチンを標的にサプライチェーンに侵入すると警告しています。日本でも、ブランドマスクの模倣品やコロナの予防効果を謳う広告など悪質商法が発生しています。歴史的にも疫病の蔓延と弱みに付け込む詐欺行為は連動して来ましたが、今、世界は氾濫する偽造薬の危機に直面していると言っても過言ではないでしょう。

2013年3月に日本薬学会のシンポジウムを契機として設立された一般社団法人医薬品セキュリティ研究会は、日本及び世界の偽造医薬品の蔓延情報、対策・体制、防止技術などを公的セクター、製薬企業、物流企業、技術開発企業、アカデミアが、相互に情報交換し、オープンな議論を通じ、研究開発の進展や偽造対策の強化を図ることやニーズとシーズの出会いの場を提供することを目的に活動しております。偽造品や低品質医薬品が出回る社会にSDGs3.8の達成はなく、流通医薬品の品質確保は各国、各地域が達成すべき責務です。インターネットの普及や自由貿易の進展、犯罪組織の関与などにより、日本も世界の偽造品流通の潮流から免れていません。

2020年第8回フォーラムは「Withコロナ時代の偽造医薬品対策」として、取締機関の把握する日本の偽造品犯罪、偽造医薬品被害を受けている製薬企業の取組、偽造防止及び識別技術などを紹介して頂きました。また、どこからでもご参加いただけるライブ配信を導入し、ご好評をいただきました。一方、貴重な情報交換の場となってきた講演会後の技術交流会を見送らざるを得なかったことは大変残念でした。

2021年第9回フォーラムにおいても長引くコロナ禍の中で、偽造医薬品と向き合っている演者によりインターネット販売、COVID-19ワクチン、偽造防止技術を、昨年同様の開催方式で、共有させていただきます。

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会
代表理事 木村 和子

PROGRAM

13:00~13:05

開会の挨拶

水野 誠 / 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事

13:05~13:25

イントロダクション 『COVID-19関連医薬品のインターネット上における販売状況』

吉田 直子 / 金沢大学 医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター 助教
一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事

13:25~14:05

講演 1 『インターネット販売製品の買上調査の結果について』

三宅 晴子 / 厚生労働省 医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課 専門官

14:05~14:45

講演 2 『新型コロナワクチンのセキュリティ、偽造品と関連犯罪について』

池田 哲也 / ファイザー株式会社 グローバル・セキュリティ 部長

14:45~15:00

質疑応答

15:00~15:10

休憩

15:10~15:50

講演 3 『ステルスナノビーコンを用いる偽造防止技術の可能性』

福岡 隆夫 / 京都大学 大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 研究員

15:50~16:30

講演 4 『GS1バーコードと偽造防止 —世界で進む製品識別とシリアル化—』

植村 康一 / GS1 Japan (一般財団法人流通システム開発センター) ソリューション第1部 部長

16:30~16:40

報告 『医薬品セキュリティ研究会フォーラムのアーカイブ

「偽造医薬品 現状と対策 —医薬品セキュリティ研究会の活動記録から—」』

大箸 義章 / 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事

16:40~16:55

質疑応答

16:55~17:00

閉会の挨拶

木村 和子 / 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 代表理事
金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科メディクウォリティ・セキュリティ講座 特任教授